

就学前機関用 アセスメント票（１）記入例

作成日	令和 年 月 日（ ）	記入者	
-----	-------------	-----	--

相談 対象 者	(ふりがな) 園児名		性別	
	〈園名〉	乳児・年少・年中・年長 ※○をつけてください↑	〈生年月日〉 R H 年 月 日 歳	

相談対象者（園児）の状況について御記入ください。

生 育 歴	* 出生体重：	グラム
	* 歩き始め：	歳 か月
	* ことばの出始め：	歳 か月

健 診 状 況	【１歳６か月児健診】	
	受けた ・ 受けない 指導（有 ・ 無）	
	指導内容（	）
	【３歳児健診】	
	受けた ・ 受けない 指導（有 ・ 無）	
	指導内容（	）

【これまでの療育歴】

* 舞鶴市の療育施設（さくらんぼ園）…… 歳～現在も通園中 又は 歳～ 歳まで

* その他（療育教室）…… 歳～ 歳まで

【にじいろ個別支援システムの活用経験】

* 初めて

* 経験がある 相談した年月……（前期： 年 月）（後期： 年 月）

【教育相談等の経験】

* 初めて

* 経験がある 相談機関（トータルサポートセンター）、相談した年月（平成28年 10月）

相談機関（ ）、相談した年月（ 年 月）

【医療機関との連携】 ※特別支援に関わる医療との連携↓

* これまでかかった医療機関： * 担当医：

* 現在かかっている医療機関： * 主治医：

【医療診断（障害種別ではなく診断名）】 例：自閉スペクトラム症・ADHD・LD・知的障害

診 断 年	診 断 名	医療機関・相談機関	医師・相談者
年 月			
年 月			

発達検査等の経験

種類	新版K式	その他（ ）
実施年月	年 月 日	
検査機関		
検査者		
検査結果	生活年齢（ 歳 月） 全領域（ ）（ 歳 月） 姿勢・運動（ ）（ 歳 月） 認知・適応（ ）（ 歳 月） 言語・社会（ ）（ 歳 月）	

就学前機関用 アセスメント票（２）

家庭での様子	〈家族構成・家庭状況〉……（ 6 ）人家族 ※本児と家族の関係等 ・父：関わりは薄い。 ・母：几帳面なタイプで本児はやや反抗気味。 ・兄（小学２年生、通常の学級）：ＡＤＨＤの診断。本児とは仲が良い。 ・妹（年少）：おもちゃの取り合い等で、よくケンカになる。 ・祖父（父方）：おだやかで優しい。本児もなついている。	
	〈基本的生活習慣〉 ※身辺自立・生活リズム等 ・食が細く、食べ終わるのに１時間以上時間がかかる。 ・着替えは一人でできるが、表裏を逆に着ていることがある。	〈家庭内での様子〉 ※帰宅後や休日の過ごし方、遊び、家族の対応等 ・帰宅後すぐにＴＶを見るか、ゲームをする。やめられないので母が叱るが言うことをきかない。 ・週２回体操教室
	身体状況	医師の指示・対応
	発作の（有 ・ 無）	
	慢性疾患（ ）	
	服薬の（有 ・ 無）	
	薬名（ ）	
	視覚について・・・遠視・近視・弱視・斜視・その他（ ）	
	聴覚について・・・聞こえにくい・難聴・その他（ ）	
園での様子	幼稚園教諭・保育教諭等から見た、発達面で課題とを感じる言動や気になる様子など 【集団活動場面での様子】 ※できるだけ具体的に記入してください。 ＊運動機能・からだや手指の使い方・感覚上の特性（過敏・鈍感）・見え方等 ＊公道上の困難・トラブル・パニック・こだわりや、多動性・協調性等 ＊指示場面での理解のしかたや程度、受け止め方の特徴、要求の出し方等	
	【自由遊び等での様子】	
	【好きなこと・興味あること・得意なこと・強み】 ※指導や支援の糸口となりそうなこと等 ・（好き）プール・タブレットゲーム・ポケモンキャラ ・（興味）電車 ・（得意）ダンス ・（強み）見て模倣する力	
現在の支援状況	【具体的な取組（支援）内容】 ※できるだけ具体的に記入してください ・全体のスケジュールを提示した後に個別に用意したスケジュールを見せて取組内容を説明し見通しが持てるようにしている。 ・制作の際には、名前を呼ぶ等して本児の注意が向いていることを確認してから話を聞かせるようにしている。	

就学前機関用 アセスメント票 (3)

※年齢の項目にかかわらず気になる所をチェックし、具体的な様子・出来事があれば記入してください。

生活年齢 の目安	チェック	発達についての設問	具体的な様子・出来事
2 歳頃		名前を呼んでも自分のことと認識しない。	
		「チョウダイ」と言って手を差し出してもおもちゃなどを渡さない。	
		指さし行動がない。	
		大人や兄弟の動作をまねることをしない。	
		自分の体や部分が分からない。 (目、鼻、口、耳のうち二つ以上が分からない。)	
		有意味語（ワンワンやニャーニャーなど）が3語以上ない。	
3 歳頃		両足跳びができない。飛び降りができない。	
		一人で運動靴がはけない。	
		大きい小さい（長い短い）が分からない。	
		大小便をもらしたときに教えない。	
		名前や年齢が分からない（言えない）。	
		二語文を話さない（マンマ、チョーダイなど）。	
		「あとで、あした、また」など言われたときに待てない。	
		自分の物と他人の物の区別ができない。	
		順番が分からない（大人が指示しても順番や交代不可）。	
		身近な友達の名前が分からない。	
4 歳頃		ケンケンで進むことができない。	
		ボールを近くの人に投げることができない（2メートル程度）。	
		おもちゃなどを友達と順番で使ったり貸し借りしたりできない。	
		基本的な色の名前が分からない。 (赤・黄・青・緑が全て分からなければチェック。)	
		簡単な質問に答えるなどのやり取りができない。	
		カ行音がタ行音になる（おかあさん→おたあさん）	
		ごっこ遊びが見られない。	
5 歳頃		指をあて、指し示しながら10個まで数えることができない。	
		はさみで簡単な形を切り抜くことができない。	
		ジャンケンが分からない。	
		経験したことを話すことができない。	
全年齢		初めの音や言葉の一部を、何回か繰り返す（ぼ・ぼ・ぼ・ぼくが など）	

※項目に気になる所があればチェックし、具体的な様子・出来事があれば記入してください。(No. 2)

	チェック	集団適応状況についての設問	具体的な様子・出来事
言 語		自分から一方的に話をする。場に応じた話ができない。	
		聞こえているが言葉の意味理解が難しい。	
社会性		不適切な状況で余計に走り回る。	
		危険予知や回避が難しい。	
		初めての場面に入りにくい、あるいは拒否する。 または場面の切り替えが難しい。	
		一人遊びが多い。集団行動をとりにくい。	
		遊びやゲームのルールが分かりにくい。	
こだわり		特定の物や人、場所などにこだわりがある。	
感 覚		身体に触れられることに非常に敏感もしくは非常に鈍感である。	
		転びやすかったりバランスを崩しやすかったりする。	
		物の扱いが非常に雑である。 もしくは物にぶつかったり押し倒したり乱暴である。	
		偏食がある。	
		音に対して耳ふさぎをすることがある。	
		横目で物を見ることがあったり、動いている物を目で追うことが難しかったりする。	
行動面		落ち着きがなくじっとしてられない。	
		突発的な行動をとることがある。	
		自分の感情をコントロールすることができずにパニックになることがある（自傷、他害行為を含め）。	
		異物を口にする。	
食 事		個別対応で指示や介助が必要。	
排 泄		出ても分からない、習慣がついていない。	
着 脱		全面介助が必要。	
その他		個別の支援計画を作成している。	
		発達支援ファイルを所持している。	
		療育手帳を所持している。	